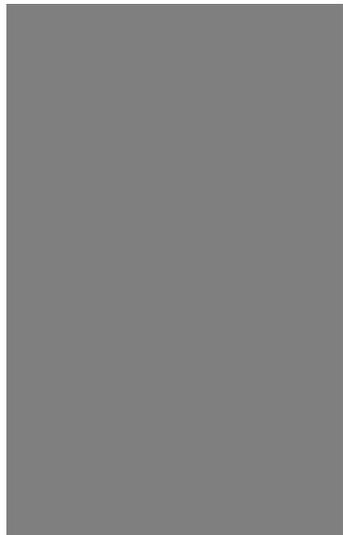
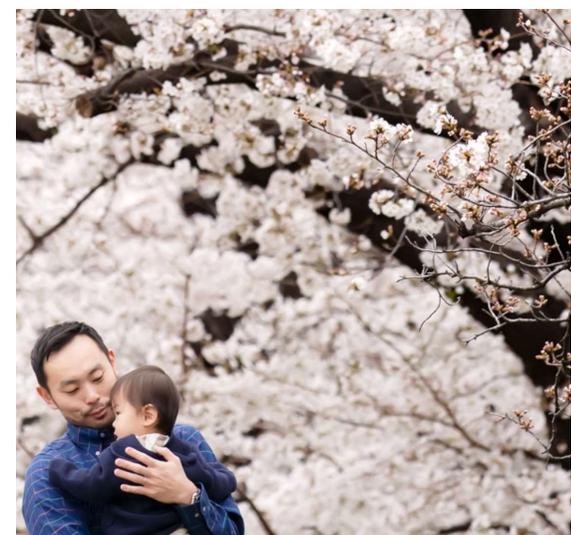




妊娠が分かった時から、育休を取得することを決めていました。1歳になるまで定期的に育休を取得。育休が終わる頃には、妻から100点満点をもらえるまでになりました。



“育休”とは、
家族で過ごせる
大事な時間

“家族でお出かけをする” 育休中にぜひやってほしいです。

“育休”とは、
子どもの成長を
間近で感じられる
かけがえのない時間



「お互いの体力をうまく調整し合い、どちらか一方が疲弊しないようにする」ことで、育児最大の敵とも言える**睡眠不足に立ち向かえた**と思います。



「妻と二人三脚で子育てをする」という意識が、自然と育まれました。



出産直後に育休を取得したことで、出産後で大変な妻のサポートができたと思います。「妻を労い、家事・育児を積極的におこなう。」限られた育休期間を過ごす上で、私が大切にしましたことです。

“育休”とは、
子どもと過ごす
大事な時間



新生児期は一瞬。産まれてすぐの子どもと触れ合う時間を大切にしました。

どんな育休だったのか、社員から寄せられたコメントの一部をご紹介します！

妻と同じスピードで、
親になる歩み成長を
進められた。

女性の大変さを身に染みて実感。
同様に育児を行う女性の大変さを
理解、共感できるようになった。

育休の間長い時間を妻と共有す
ることで、実際の子育てを通じて、
お互いの育児観などの意見交換
ができたことで一体感が生まれた。

子どもとの時間を長く取れ
たことで、日々成長する姿
を感じる事が出来たり、子
どもとの関係が強くなったり
した

Q.育休を取得してよかったと思うことは？

何気ない赤ちゃんとの触れ合い。多くの人にとって、人生で数回しかない貴重な機会をさせて頂いた会社・上司・チームメンバーに感謝。

全て。
苦勞した分だけ愛情が湧く。

普段関わる事がない世界の中で時間を過ごす事で、子ども達だけでなく（普段そうした対応をしている）妻への理解も進んだことで家族の関係性を深める事ができました。

妻を休ませるために日常の家事を対応すること。

上のお兄ちゃんとの時間を取ったこと。

Q. 育休中にこれだけはやってよかったことは？